



鳥インフルは今年も北海道や鹿児島県など既に複数の地域の養鶏場で発生し、今後の状況次第では「エッグショック」が再来しないとも限らない。鶏卵相場（東京M基準値）を見ると、今夏は前年より大きく下がり、1キロ200円前後で推移していたのに、10月に入

九州地区の主要経済指標（9月）

■鉱工業指数

		増減率
生産	九州	108.9
	全国	101.1
出荷	九州	104.7
	全国	99.7
在庫	九州	96.5
	全国	102.3

■主要製造業

粗鋼生産量	954(千トン)	▲15.9
自動車生産台数	1,085(百台)	▲18.5
IC	生産量	439(百万個)
	生産額	1,424(億円)

■輸出入

輸出額	8,299(億円)	▲1.7
輸入額	7,197(億円)	6.3

■建設

新設住宅着工	6,954(戸)	▲9.0
公共工事保証額	1,927(億円)	6.4

■消費

百貨店販売額	370(億円)	5.2
スーパー販売額	1,005(億円)	4.1
新車登録台数	40,739(台)	4.4
消費者物価指数	108.7	105.7
世帯実収入	43(万円)	▲0.8
世帯消費支出	27(万円)	10.5

■運輸・観光

JR	旅客	2,773(万人)	4.3
航空	旅客	378(万人)	10.0
	貨物	19,317(㌧)	22.5
外国人入国者数		32.4(万人)	19.5

■金融・雇用

預金残高	66.4(兆円)	0.5
貸出残高	46.7(兆円)	1.8
貸出約定平均金利	0.579(%)	0.547
企業	件数	64(件)
倒産	負債額	66.4(億円)
有効求人倍率		▲8.8
		1.21(倍)
		1.26

表の見方 一部速報値を含む。貸出約定平均金利は8月の数値。増減率は前年同月比で、▲はマイナス。鉱工業指数、消費者物価指数は2020年を100。消費者物価指数、貸出約定平均金利、有効求人倍率の比較数字は実数。鉱工業指数、有効求人倍率は季節調整値。百貨店、スーパー販売額は全店ベース。外国人入国者数には船舶観光を含まない。

10月相場、前年超え

2年前に猛威を振るった高病原性鳥インフルエンザが今年も各地で発生し、卵の価格が上がる「エッグショック」の再来が懸念されている。世界では異常気象でカカオやオレンジの供給が鈍り、国内でも米の価格が高騰。一方で、働き方や生活様式の変化から冷凍食品市場は大きく成長するなど、食品産業は転換期を迎えている。幅広い食品に活用される液卵の供給大手、イフジ産業（福岡県粕屋町）の藤井宗徳社長に、業界の動向を聞いた。（聞き手は下村ゆかり）

がつてしまうだろう。
2022年シーズンは、大きな試練だった。鳥インフルの大流行で殺処分され、前年を超えた。冬に向かって感染が広がれば、供給量はさらに減り、価格も上

がつてしまつた。23年春から秋にかけ4400万羽を確保し、納入先の開拓

にもつなげた。ブラジルは

南半球にあるため、渡り鳥

から感染する鳥インフルの

商品開発に力を入れた。

われわれも営業活動を強化

し、最終的には20年度の販

売数量は前年度に比べて0

・1%増で着地した。

現在も冷凍食品のチャー

の供給は大幅に落ち込み、品薄や品切れでスーパーの店頭に卵パックがなかなか並ばず、国内最大手の液卵企業も「需要に対応できない」と食品メーカーへの供給制限を表明するなど天引き混乱した。

われわれもブラジル産の鶏卵輸入に踏み切った。23

年春から秋にかけ4400

万羽を超えた。鶏肉や鶏卵

から感染する鳥インフルの

商品開発に力を入れた。

われわれも営業活動を強化

し、最終的には20年度の販

売数量は前年度に比べて0

・1%増で着地した。

現在も冷凍食品のチャー

の商品開発に力を入れた。カーネーションバウンド（訪日客）が回復し、小売りや外食も伸びている。経営環境の変化に対応しながら、供給メカニズムとしてこの流れを支えるため、しっかりと在庫を確保し、安定供給に努めたい。

ハンの売り上げが増え、工具に使う液卵の販売が好調だ。米の不足や価格上昇を受けパンの需要も回復。ハンバーガーチェーンなど卵を前面に打ち出すキヤンペーンを展開中だ。

九州で活況に沸く半導体

食大手がメニューに目玉焼

を加える「月見フェア」

西日本景気トレンド

「卵ショック」再来懸念

リスク分散につながる。季節も逆で需要のピークがずれるため、安定確保も可能になる。食品業界にとって感染症の新型コロナウイルス禍では、緊急事態宣言が発令された4月から5月にかけ、外食向けの需要が一気になくなり、販売数量が前年に比べて15%減った。半年ほど厳しかったが、その頃、定着しつつあつたりモートワークや巣ごもり需要を見定着しつつあつたりモートワークや巣ごもり需要を見く混乱した。企業も「需要に対応できない」と食品メーカーへの供給制限を表明するなど天引き混乱した。

九州で活況に沸く半導体

食大手がメニューに目玉焼

を加える「月見フェア」